学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間
【11／4～11／18】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

札幌市立美園小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能





「読書の推進」

☆図書ビンゴを通して

今年度も図書委員会の活動で、「図書ビンゴ」というイベントを行っています。「絵本」「日本人作者の本」などとお題が書かれたビンゴカードがあり、お題に合った本を借りて読んでいくという取組です。イベントを通して図書館に足を運ぶ機会が増え、本に触れる機会を増やして、読書の幅が広がることを期待して行っています。

☆先生方の読み聞かせを通して

本校では、「先生方の読み聞かせ」を行っています。今年度も４回行う予定で、１１月１８日の３回目は、縦割りペア学年の先生による読み聞かせを行う予定です。先生方が選んだ本を読み聞かせることで、新しい本への興味や読書の面白さを改めて感じられたり、読書意欲の向上に繋げたりできると考えています。

学習センターとしての機能

「学習と図書」

３年生の国語「本で知ったことをクイズにしよう」では、自分の興味に合わせて本を選び、読んで分かったことや新しく知ったことをもとにクイズ作りに取り組みました。本から得た知識をクイズにすることで、読書の楽しさや調べることの面白さを味わいながら学ぶことができました。

情報センターとしての機能

「学校図書館から広がる学び ～情報センターとしての機能～」

学校図書館は、本を読んだり借りたりする場所であるだけでなく、子どもたちが必要な情報を集め、学びを深める「情報センター」としての役割も担っています。これからは、学校図書館という枠にとらわれず、本や図鑑、新聞、インターネット、映像資料など、複数の情報源を幅広く活用していくことを大切にしたいと考えています。

特に、インターネットについては、一人一台端末を使用して学習内で活用する機会が増えました。４年生では、社会科で地域の特色について、総合的な学習の時間で、「りんご」について詳しく調べる際に使用し、適切な情報を得ながら、自分で理解を深めていく時間を作りました。

子どもたちが情報を受け取るだけでなく、自ら情報を探し、判断し、活用できるよう、様々な学習の場面で情報センターとしての機能を今後も充実させていきたいと考えています。